- ① 五感体験 ② 川とのつながり発見 ③魚の気持ちになったら

発表内容

野洲川エコスクール活動は、2021年度から3か年を通して、野洲川の上流、中流、下流域の自 然、文化、暮らし、産業について学び、地域の良さを再発見し、今私たちにできることを考え、 発信できる子どもたちの育成を進めている。「それいけ、野洲川探検隊」を結成し、令和4年度 は24家族55人が参加して、全8回の活動に取り組んでいる。すでに4回の活動を行い、野洲川 全域の観察、ドローン映像による川の蛇行・土地利用の学習、3地点の水質や生態の調査、地下 水が綺麗になる仕組みを自作ろ過器で確かめ、伏流水を使った産業として酒蔵を見学した。発表 では、酒蔵見学と生き物の気持ちになって考えたことを発表する。

活動中の川や水辺の名称

一級河川 野洲川 (甲賀市、湖南市、野洲市、守山市)

活動内容

野洲川エコスクール



- ① 水門について学ぶ紙芝居
- ② 流域治水への関心を育む
- ③ 学生協働 MLGs (琵琶湖版 SDGs)

発表内容

「がんばれ!すいもん-びわこからの水を止めるはたらきもの-」を滋賀県立大学の瀧研究室と河川管理者や博物館職員、地域の方々と協働して作成しました。水門やポンプの役割を知り、琵琶湖水系における治水利水、自然や文化を学べる内容となっています。琵琶湖とその周辺地域に対する自然環境への愛着と関心を育むことを目的としています。

ねらいは、①小学3年生以上が楽しめるもの ②地域の歴史や産業について触れることができるもの ③活動団体や河川管理者が出前授業で活用できるもの ④現在の街づくりに活用できるもの の4つです。

琵琶湖淀川水系での治水・利水の過去・現在を知ることで、未来のための議論をするキッカケになると幸いです。

活動中の川や水辺の名称

一級河川 琵琶湖

活動内容

紙芝居の作成



がんばれ!すいもん 学生協働でつくる紙芝居

- ●目的 琵琶湖への愛着と関心を育む
- ●活動への参加者



滋賀県立大学 瀧研究室



河川管理者 県庁職員



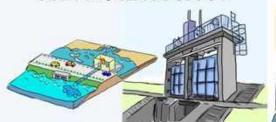
博物館職員

●活動内容 紙芝居の作成



水門・ポンプの役割を知る

-ぴわこからの水を止めるはたらきもの-



治水・利水を学べる



自然・文化も学べる



愉快な仲間達が楽しくご案内









滋賀県立大学 瀧研究室

- ① 楽しいこと ② 地域貢献 ③ 継続

発表内容

コロナ禍で様々な活動に制約を受けていますが、発足以来続けている河川の清掃活動と、近 年参加している『身近な水環境の一斉調査』について報告します。

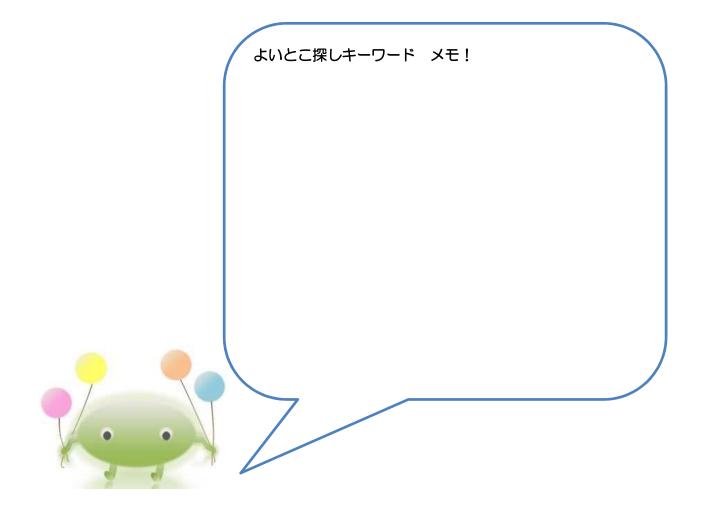
滋賀県何でも1番で紹介されていますが、平成28年(ちょっと古い!)社会生活基本調査 でボランティア活動年間行動率は全国一位だそうです。様々な分野での数多くのつながりが、 より大きくなることを願っています。SDGs MLGs

活動中の川や水辺の名称

一級河川 瀬田川、高橋川

活動内容

河川のゴミ拾い、草刈り、植栽、水質調査



川を楽しみたい 川で 遊び たい River Play 隊

ためらうな今すぐ一歩踏み出せよ Believe yourself 前へ前へ

特定非営利活動法人 瀬田川リバプ し隊 since 2003













山・里・うみ(湖、海)



コロナ禍で活動に制約をうけており、これまでの活動の一部をご紹介します 現在は毎月10日の瀬田川清掃、25日の高橋川清掃が主な活動です

C-2 河川管理パートナーの会

活動のキーワード

- ① 河川のポイ捨て散乱ごみ
- ② 河川管理
- ③ プラスチックごみ問題河川巡視活動

発表内容

河川管理パートナーは、担当する河川の巡視活動を中心に、河川の防災対策・ごみ対策を含めた河川の維持管理のため、県市との連携と地域の仲立ち的役割を担い、住民参加による川づくりを目指しています。大津土木事務所の河川管理パートナーの活動内容を紹介し、今年度の巡視活動で知ったこと、気がかりだった河川へのポイ捨てごみ、散乱するプラごみを含めた河川環境の現状を報告します。SDGs の視点や廃プラスチック問題としても、看過できない河川ごみと河川環境の悪化をどう解決したらよいのでしょうか。河川の価値を高め琵琶湖を守るために、地域の活動の取り組みや仲間づくりを目指して、考え行動したいと思います。

活動中の川や水辺の名称

主に 一級河川 長沢川、狼川、千丈川 (大津市 千町、大萱(瀬田東)付近 他)

活動中の川や水辺の名称

河川巡視活動を通じた河川管理の支援と、住民協働による川づくりへの参加・協力など



河川管理パートナーの活動

~ 地域の河川と環境を大切にしたい ~



河川管理パートナーの会 松村 順子

◎ 河川管理パートナーについて

【概要】平成9年に改正された河川法と「河川整備計画」により、地域住民の積極的 参加による「ふるさと川づくり協働事業」は、次の3つの柱で構成される

① 河川愛護支援 ② 地域活動支援 ③ 河川管理パートナー

- 【目的】河川管理パートナーが河川を巡視し状況を把握することで、流域の水害の防 災対策や河川敷のごみ対策もふくめ、河川の安全と維持管理につなげる。
- 【現況】県内河川管理パートナー 51名 → 内 大津市 9名 (砂防監視員兼任 7名) *県より委嘱されたボランティア
- 【活動】月2回、担当の一級河川を巡視 (県管理区間の起点から河口まで) チェック項目にしたがって状況の報告を月1回提出。年1回合同会議参加。 県市町と地域の連携や仲立ち的活動、情報発信など

【チェック項目】護岸や堤防、階段や遊歩道の損傷・崩壊、管理用道路状況、 河川敷の樹木や雑草

県土木事務所·支所所属 河川管理パートナー数

/3/11日/王/· 1/ XX				
	事務所	人数		
1	大津	9		
2	南部	6		
3	甲賀	賀 6		
4	東近江	9		
5	湖東	6		
6	長浜 6			
7	木之本	3		
8	高島	6		
県	全体数	51		

参考:河川管理パートナー・砂防監視員合同会議資料&大津市の環境

◎ 最近の巡視活動からわかったこととは。

- ① 河川環境の変化
 - ・雑木・雑草・外来種の繁茂のすごさ、土砂の堆積
- ② 河川内支障物の増加
 - ・流木・枯草・ごみの段差工での滞留
- ③ 川ごみの増加
 - ・不法投棄物・ポイ捨て散乱ごみの変化・一般ごみの投棄
- * ポイ捨て散乱ごみ・・ 缶、ペットボトル、紙製プラ製容器包装 (不法投棄物の対応) 管轄への緊急連絡、大津市民通報システム、報告書

◎ 担当河川の浚渫工事から知ったこと・わかったこと

- ① 身近な河川の構造 ② 大量の土砂と大量の川ごみ、川への投棄物
- ③ 川ごみのはじまり
- ④ 地域住民の川ごみへの意識
- ⑤ 自治会や河川愛護団体の美化活動の差異
- ⑥ プラスチックによる使い捨て文化の影響

◎ なおざりにできない、川ゴミ問題

- 全国の河川の川ごみの現状
- ・琵琶湖の湖底ごみ調査結果から
- ・川ごみはどこから始まって、どこへ
- 波及する問題について

◎ 川ごみを何とかしたい。川ごみ対策へ。

- ① 防災対策としての取り組み
- ② 河川愛護活動や琵琶湖の日の一斉清掃活動の活性化
- ③ プラスチック問題の対策とポイ捨て禁止
- ④ MLGsの視点での取り組み



不法投棄・河川内支障物の対応数

年	大津市内	河川区域	河川内
度	不法投棄	不法投棄	支障物
H27	392	60	10
H28	339	97	15
H29	372	96	12
H30	369	228	46
R1	469	315	117
R2	374	170	37



- ① 湖上 TOWN ② びわ湖畔活用 ③ ワクワクする未来の大津・滋賀

発表内容

湖上を活かし、琵琶湖でしかできない笑顔を創生したい!琵琶湖に住まう人たちのための、日 常の更なる充実を目指すビジョンのファーストステップ!付近駐車場も充実し、アクセスも良く 人々の集いやすい絶好のコンパクトパッケージスポット、「なぎさ公園 なぎさのプロムナー ド」エリア・桟橋を利用し、台船を運用した湖 上に浮かぶ街を実現させることに成功。台船上 では、ドリンク提供イートイン湖上カフェ、湖上でのマルシェ、湖上ライブ、ナイトビューラウ ンジを行い、滋賀、琵琶湖、大津にしかできない『ここにしかない』空間を創り出しました。湖 上だけでなく導線となるパークサイドでも、フードブース、マルシェ、ファーマーズマーケッ ト、焚き火カフェなど、この場所では普段絶対にできない非日常を実現させ、地域を含めリアル な賑わいを創り出すことで、『ワクワクする未来の大津像』を可視化させました。

活動中の川や水辺の名称

一級河川 琵琶湖 なぎさのプロムナードエリアおよびその湖上 (大津市 におの浜2丁目)

活動内容

湖上の台船を活用した湖上およびパークフロントを活用した『湖上 MARKET』の企画・運営





10. 現地会場 フロア全体図 (コラボしが 21 3階 会議室フロア)

